

市立奈良病院 薬剤師レジデントプログラム

高度急性期から慢性期まで
日本中で活躍できる薬剤師を目指して

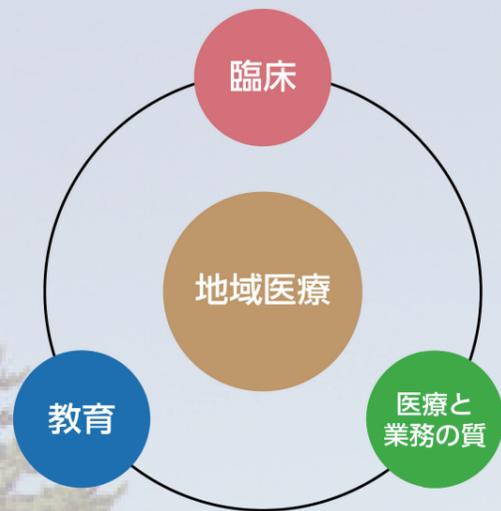


ご挨拶

地域医療振興協会について

「地域医療の確保と質の向上を図り、もって地域の振興を図る」ことを目的に設立され、現在、全国 47 都道府県の支部を有します。運営する施設は 85、働く職員数は 9,500 名に上り、行政・地域住民と一体となって病院、診療所、複合施設など地域における医療の提供を行っています。

レジデントプログラムについて



この薬剤師レジデントプログラムは、EBM の実践できる薬剤師を育成し、どの地域においても標準的な医療を提供することで、日本の医療レベル向上に寄与することを目的に立ち上がりました。プログラムでは高度急性期病院のほか、地域中核病院や在宅医療の現場での研修も行うことで、どの医療ステージにおいても標準的な医療の提供につなげられる薬剤師となることを目指します。

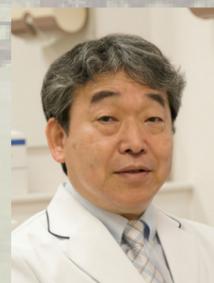
この2年間のプログラムは、皆さんが10年、20年後も自信をもって医療に携わり、臨床薬剤師として活躍するための基礎スキル修得に役立つものと信じております。当院が研修医の基幹型研修病院として教育の文化があること、医師、看護師をはじめとする多職種との協働体制が整う環境であり、私たちにしかできない教育プログラムであると自負しております。ぜひ、今後の日本の医療を支える臨床薬剤師として、私たちとともに歩んでいただける方をお待ちしております。



薬剤師の卒後教育は現在、一部の大学病院や市中病院でカリキュラムがありますが、それぞれの病院機能に特化したスペシャリストを育てる教育に限定されています。地域医療振興協会ではその豊富な医療資源を活用し、急性期医療から地域在宅医療、また介護や福祉分野まで幅広く活躍できる医師や看護師の育成に尽力して参りました。その経験をふまえ、この度奈良県初となる「薬剤師レジデントプログラム」を開始いたしました。協会内での先達である東京ベイ浦安市川医療センターの同プログラム経験も活かし、短期間の研修で医療・介護・福祉のさまざまな分野で活躍できる薬剤師として成長していただくと確信しています。

多くの皆様がこのプログラムを活用し全国へ羽ばたいて活躍されることを期待しています。

市立奈良病院 管理者 西尾博至



病院薬剤師は、病院という医療チームの医師や看護師など多職種とともに治療計画に参画し、様々に複雑な患者さんに最適な治療薬物療法をおこなう臨床的判断をすることで、直接的に治療に貢献すると同時に医療業界全体への理解を深めることもできます。また、市立奈良病院では「教育」をひとつの柱と捉えています。地域医療振興協会内で先行する薬剤師レジデントプログラムも活かした本プログラムを履修することで、一人でも多くの方が奈良県のみならず全国で活躍される病院薬剤師となられることを祈念しています。

市立奈良病院 院長 下川 充

レジデントプログラムの到達目標

- EBM=Evidence Based Medicineの実践(臨床上的問題点を解決するための情報を収集、評価し、当該患者への適応を判断)できる薬剤師の育成
- 国内どの地域、どの医療ステージにおいても標準的な医療を提供できる薬剤師の育成

高齢者医療

- ポリファーマシー対策
- NST などを通じた院内チームでの栄養療法の実践
- がん、非がんにおける緩和医療
- 老年医学に準じた薬物療法の実践

在宅医療

- 老年医学に準じた薬物療法の実践
- 訪問看護師やケアマネージャーなど他職種連携
- がん、非がんにおける緩和医療
- 通院困難症例に対する薬物療法の実践

成人医療

- 抗菌薬適正使用のための抗菌薬選択、投与期間への介入
- 薬物療法の効果対費用の評価による医療費削減
- 頻度の高い疾患における薬物療法の質改善
- 薬物療法の効果と有害事象の評価
- 多職種連携による医療の質向上
- 慢性期まで考慮した薬物療法の実践

回復期医療

- 慢性期まで考慮した薬物治療の実践
- 服薬指導スキル

周産期・小児医療

- 年齢と代謝に応じた抗菌薬選択と適正使用
- 服薬指導スキル
- 承認外医薬品の情報収集、評価

急性期医療

- 抗菌薬適正使用のための抗菌薬選択、投与期間への介入
- 薬物療法の効果対費用の評価による医療費削減
- 頻度の高い疾患における薬物療法の質改善
- 承認外医薬品の情報収集、評価

高度急性期医療

- 多職種連携による医療の質向上
- 薬物療法の効果と有害事象の評価



スケジュール



病棟研修

- ・指導薬剤師のもと、複数診療科で実施し臨床スキルを習得する
- ・服薬指導、薬物療法の効果や有害事象の評価、処方設計を学ぶ



多職種連携

- ・各専門職の役割を知り、医療チームにおける薬剤師の役割を学ぶ



緩和ケア

- ・緩和ケアと緩和薬物療法を理解する
- ・病期を考慮し、疾患の治療のみに捉われない全人的介入を実践する

※協会内の施設へ短期研修を行う場合もあります



医薬品情報

- ・医薬品情報を収集、評価し、当該患者に適用できるかを判断できるスキルを修得する



セントラル業務

- ・注射・製剤業務を学び、調剤の基本スキルを修得する



コミュニケーションスキル

- ・ディスカッションに必要なスキルを修得する



在宅診療

- ・在宅診療に同行し、診療の実際と薬剤師にできることを学ぶ



地域医療

- ・長期間の入院生活や在宅療養を見据えた薬物療法を実践する
- ・処方提案から長期間にわたる薬物療法の評価を行う
- ・高齢者における薬物療法の注意点を理解する



各種カンファレンスに参加

- ・治療の方向性や薬物療法について、薬剤師の視点から評価し提案するためのスキルを修得する



災害時医療

- ・災害時の医療提供、医薬品供給にたいする管理体制について学ぶ



症例報告

- ・レジデント一名につき1年次、2年次の各2回、研修で介入した症例の報告会を実施
- ・自身や他のレジデントの症例報告を通じ、自己の介入の振り返りと知識の整理、プレゼンテーションのスキルを修得する



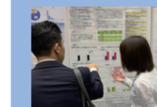
経静脈栄養療法

- ・NSTにおける薬剤師の役割を理解し、輸液、栄養管理を学ぶ



教育スキル

- ・薬学実務実習の指導にかかわることで、自己研鑽だけでなく指導者としてのスキルを修得する



研究活動

- ・臨床研究、学会発表を行う際は、研究計画立案から発表までに必要なスキルを修得する



外来化学療法

- ・薬物療法の適応評価や投与設計をはじめ、患者指導、治療効果と有害事象の評価を行うスキルを修得する

	1年次			2年次				3年次	
	4月～11月	12月～1月	2月～3月	4月～5月	6月～7月	8月～9月	10月～11月	12月～3月	アドバンスコース
薬剤師 A	市立奈良病院	三重県立志摩病院	市立奈良病院	三重県立志摩病院	市立奈良病院				JADECOM施設 (希望に応じて提案)
薬剤師 B	市立奈良病院		三重県立志摩病院	市立奈良病院	三重県立志摩病院	市立奈良病院			
薬剤師 C	市立奈良病院			三重県立志摩病院	市立奈良病院	三重県立志摩病院	市立奈良病院		

市立奈良病院

- 高度急性期医療
- 広範囲の診療科目
- 地域医療連携
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院(地域医療センター)
- へき地医療拠点病院

中央業務、臨床基礎知識、臨床業務、化学療法、緩和ケア、感染対策、医療安全、コミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキル、症例検討会

三重県立志摩病院

- 急性期医療
- 高齢者医療
- へき地医療

シティ・タワー診療所

(2年次に1～2週間の研修)

- 在宅医療
- 訪問診療への同行
- 外来診療支援

市立奈良病院

患者中心の良質な医療実践に努めるとともに、市民から愛され、信頼される病院を目指します。



市立奈良病院は歴史と文化を誇る奈良市の中核的医療機関として、質の高い効率的な医療を提供するとともに、地域のみなさんが安心して、笑顔があふれる病院を目指しています。また当院では、医療従事者の教育および育成を重要な使命として、医師においては研修医や各科専門医の養成、看護師は学生実習や新人教育、認定看護師、専門看護師および特定行為看護師などの高度な看護師の養成にも力を入れています。薬剤室では、幅広い臨床知識を得ることができる環境のなか、薬物療法の専門家として活躍できる薬剤師の育成に力を入れています。薬剤師の卒後臨床研修の充実が求められるなか、

当院では高度急性期病院における臨床薬剤師としての能力向上を図ります。また連携施設においては地域医療や慢性期医療、薬剤師の在宅業務についても学ぶことができるプログラムを構築しました。この新しい研修プログラムを通し、ジェネラリストとしての臨床能力を培うことで、修了後は日本で活躍できる薬剤師の輩出を目指しています。当院の薬剤師レジデントプログラムに興味を持たれた方は、一度病院見学にお越しください。ご連絡をお待ちしております。

病院概要

開設 2004年12月
開設者 奈良市
管理運営 公益社団法人地域医療振興協会
病床数 350床（一般349床、感染1床）
診療科 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、心療内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、麻酔科、歯科

薬剤室概要

人員：薬剤師24名 薬剤助手2名
認定薬剤師：日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師、感染制御認定薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、日病薬認定指導薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、日本糖尿病療養指導士、リウマチ財団登録薬剤師、ICLSインストラクター、博士（薬学）
処方箋件数/月（2022年度平均）
・入院処方箋枚数：5473枚 ・外来院外処方箋枚数：8097枚
・院外処方箋発行率：95.6% ・入院注射処方箋枚数：6704枚
・外来注射処方箋枚数：2730枚

■病院所在地

奈良県奈良市東紀寺町1-50-1 TEL：0742-24-1252 FAX：0742-22-2478
<https://www.nara-jadecom.jp/index.html>

三重県立志摩病院

地域の皆様を大切に、信頼される病院を目指します。



三重県南部地域の伊勢志摩国立公園内にある志摩市。当院は高齢化が進む志摩市唯一の総合病院として地域の医療を担っています。

当院では30～40年後の日本が直面する課題と向き合うほか、病床数336床のうち、県内でも珍しく精神病床100床を備えていることが特徴です。調剤室は県下初の散葉調剤ロボットなどを取り入れ、業務効率化のためのオートメーション化にも積極的に取り組んでいます。多職種連携も盛んで、多くのチーム医療に参画し、知識を深め専門資格を目指せる環境が整っています。

「女性が働きやすい医療機関」として認証され、風光明媚な志摩の地でプライベートとの両立が出来る、ストレスなく働くことができます。限られた資源の中、薬のスペシャリストとして、地域の保険薬局とも連携をとりながら、より安全で質の高い薬物治療を持続可能な形で地域住民の皆さんに提供する大切さを学んでいただきたいと思います。

提供する大切さを学んでいただきたいと思います。

病院概要

開設者 三重県
管理運営 公益社団法人地域医療振興協会
病床数 336床（一般236床 精神100床）
診療科 内科・循環器内科・緩和ケア内科・脳神経内科・外科・形成外科・脳神経外科・小児科・産婦人科・整形外科・泌尿器科・眼科・精神科・皮膚科・耳鼻咽喉科・漢方内科・漢方皮膚科

放射線科

薬剤室概要（2024年1月現在）
人員：薬剤師5名
処方箋件数/月（2022年度平均）
・入院処方箋枚数：2213枚 ・院外処方箋発行率 96.7%
・入院注射処方箋枚数：3246枚 ・外来注射処方箋枚数：872枚

■病院所在地

三重県志摩市阿児町鶴方1257 TEL：0599-43-0501 FAX：0599-43-2507
<https://kenritsushima.jadecom.or.jp/>

シティ・タワー診療所

医療を通じて「人」と「地域」に感動を創り出す。



JR「岐阜駅」直結、通いやすい場所で、地域の方々の健康や日常生活を見守るのがシティ・タワー診療所です。

一般外来のほか、在宅医療に力を入れており通院が困難な小児、高齢者、難病の方のご自宅に伺い、あらゆる困りごとに対応する診療を行っております。また地域の病院・薬局・訪問看護等と連携してターミナルケアや医療的ケアが必要な小児のケアに積極的に取り組み、都市部での地域医療を実践しています。

薬剤師の主な業務は、医師への処方提案、最適な薬物療法について多職種と協議、地域病院や調剤薬局・訪問看護などとSNSを用いた情報共有、麻薬を含む院内薬剤の管理、外来陪診、訪問同行、カンファレンス参加など多岐に渡ります。在宅医療へのスムーズな移行と希望される生活を目指して寄り添い、医療と医療を繋ぐ橋渡し役を担います。

病院概要

開設 2010年3月
開設者 公益社団法人地域医療振興協会
管理運営 公益社団法人地域医療振興協会
診療科 内科、小児科、在宅医療
併設機能 有料老人ホーム、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、訪問看護ステーション

従業員数：23名（医師8名・看護師9名・事務5名・薬剤師1名）
認定薬剤師：日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師、JPALSレベル6認定薬剤師
実績（2023年度平均）
・外来 323件
・在宅 450件（うち癌36人、非がん94人、小児54人）
・院外処方箋発行率：100%
・在宅看取り：月平均15名

■施設所在地

岐阜県岐阜市橋本町2丁目52番地 岐阜シティ・タワー43 3階 TEL：058-269-3270
<https://www.citytower-cl.com/>

レジデント募集 募集要項

職 種	薬剤師レジデント
雇用形態	常勤(2026年4月～2年間の有期雇用、待遇は常勤職員と同等)
採用人数	3名
必要資格	2026年薬剤師免許取得見込の方 薬剤師免許をお持ちの方
勤務場所	市立奈良病院 / 三重県立志摩病院 / シティ・タワー診療所 ※上記の施設間でのローテーション勤務あり。状況に応じて、連携施設が変更・追加になる可能性あり。
給 与	協会規定により支給
諸手当	地域人材手当、超過勤務手当、宿日直手当、 住居手当(借家27,000円まで)、県立志摩病院勤務時は宿舍利用可 扶養手当、通勤手当(実額・月55,000円程度まで) 賞与: 年2回(6月・12月) 計4.00カ月分(2023年度実績)
休日・休暇	4週8休、年末年始休暇、年次有給休暇初年度10日、 特別休暇(リフレッシュ休暇、慶弔休暇等)
勤務時間	《市立奈良病院》※勤務地に準ずる 平日8:30～17:00(休憩・休息60分) 当直勤務あり(月1～2回程度)
福利厚生	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険、研修費予算(補助)、 食事補助(チケットレストラン) など
選考方法	[応募方法] 必要書類を下記連絡先に、簡易書留にて郵送してください。 ■ 新卒の方 : 履歴書(写真貼付)・成績証明書・卒業見込証明書 ■ 薬剤師免許をお持ちの方 : 履歴書(写真貼付)・職務経歴書・薬剤師免許写し (応募書類は返却いたしません。責任を持って処理いたします。) ■ 選考方法 : 書類選考、自己PRプレゼンテーション(Power Point 5分程度)、面接
備 考	■見学・説明会: 2025年3月13日(木)、4月18日(金) 14時00分～16時30分 (薬剤室ホームページ内のフォームより申し込み下さい。) ■応募締切: 2025年5月2日(必着) ■試験日: 2025年5月中旬(試験日は決定次第、追ってお知らせします)
連絡先	[書類送付先] 630-8305 奈良市東紀寺町1丁目50-1 市立奈良病院 総務課 人事担当者 宛 *封筒に「薬剤師レジデント応募」と朱書きして下さい。 [問い合わせ] 市立奈良病院 薬剤師レジデントプログラム事務局 担当: 米田 (薬剤室) 0742-24-1252 (代表)